

まけてたまるか！

明るい話題を。この稿では時折、若者たちの活躍を紹介してきましたが、そんな話題がある時が本当にうれしい。

昨年末、大和中学校3年生小泉さくらさんの文部科学大臣賞の受賞には驚きました。全国から8万を超える作品が集まる「第26回公募日本習字展」で、高校生以下の毛筆の部で頂点に。北辰小学校6年生大平真輝さん（令和2年度の本気井ポスターのモデル）は、両国国技館で開催された「第34回全日本小学生相撲優勝大会」で見事、準優勝。

「将来は横綱になりたい」と。全国高等学校サッカー選手権大会などで活躍している帝京長岡高校3年生松村晟怜さんは、この春から「湘南ベルマーレ」に入団内定。昨年の吉田晴稀さんに続き、市内2人目のJリーガーが、この雪国から。2大会連続での冬季五輪バイアスロン日本代表の田中友里恵さんなど、スキー界の活躍はもちろん、枚挙にいとまなし。みんなすごいなあ！

市内でのフィールドワークを通して地元を知り、世界まで関心を深めるための教育プロジェクト「YOU

KEYプロジェクト」が実施され、中・高校生27人が参加。この参加者で結成したチームの提案が「第1回全国高校生環境アイデアコンペティション」で驚きの優勝。魚沼地域の自殺率の高さを憂い、その解消策を研究した提案が高く評価された。昨年引き続き、塩沢中学校野球部の有志による除雪ボランティアが、栃窪地区の高齢者住宅で活動。「感謝と恩返し」のためと口にする彼らに、雪国の子どもたちの逞しさと爽やかな風を感じる。

全盲で、中学1年生から親元を離れ、筑波大学付属視覚特別支援学校で学ぶ高校1年生になった石田乃彩さんは、「第71回ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」の器楽部門ピアノ4部（高校生の部）で見事、優勝。先日、市役所へ報告に。再会がうれしかった！「残る2年間のうちに、最高位であるヘレン・ケラー賞を取りたい」と、小学生のころから変わらない、誠に心の底から明るい元気な笑顔で。

コロナ禍は先が見えない。が、やがて止む。一寸先は闇ではない。光だ！

国際大学留学生 お国自慢コーナー ~boast of my country~

シリーズ 第106回

ネパール連邦民主共和国 マケシ ダンゴルさん



私の国はこんなところ

ネパールは、南アジアに位置する内陸国です。世界最高峰のエベレスト山（標高 8,848.86m）をはじめ、世界の標高 8,000m 峰 14 座中 8 座を有し、総面積の大部分がヒマラヤ高山地帯です。国内でも標高差が大きいため、気候は熱帯から寒帯にまでおよび、動植物は多様性に富んでいます。仏教の創始者ゴータマ・シッダールタは、紀元前 623 年に南部の聖地ルンビニで生まれました。ネパール山岳民族から構成されるグルカ兵は世界最強ともいわれ、歴史上、植民地支配を受けたことはありません。



南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼は、アウトドア活動にふさわしい街です。冬には人生で初めてスキーを体験し、夏には田畑や川沿いをサイクリングしながら山を眺めたり、陽気な地域の人たちに出会ったりしました。一番好きな場所は、水無川です。澄んだ川で泳いだり、散歩して景色を楽しむこともできるととてもいい避暑地です。

編集後記

近年、通勤時に車がスタックすることがあります。ある運転手さんは、以前は雪が積もった道でも雪を舞い上げて走ることができたが、最近は雪が水っぽく車体の下に入りこんで車が浮き上がるため、スタックしやすいと言っていました。国連の会議 COP26 では、世界の平均気温が1度上昇していると報告されています。冬の雨など、地球温暖化の影響がひたひたと迫っているのかもしれません。(N.K)

今月の表紙

今シーズンも市内の各スキー場には、しっかり雪が積もりました。青空が広がり絶好のウインタースポーツ日和となったこの日、スキー場を訪れた六日町小学校の児童は、笑顔でスキー授業を楽しんでいました。

市民の動き 令和3年12月末日現在 () は対前月比

○人口 54,605人 (-33人) / 男 26,726人 (-16) 女 27,879人 (-17) ○世帯数 20,113戸 (9)